

# 豪州で「積極的に学びたい」

久御山 生徒11人がWHSへ  
中学校

久御山中学校(公文代 哲夫校長)から、姉妹校であるオーストラリアのワーウィックステート・ハイスクール(WHS)に派遣される生徒たちが1日、町教委の職員や保護者らの見送りを受けて、



決意の言葉を述べる松下愛海さん



豪州ワーウィックステート・ハイスクールへ旅立つ訪問団員ら

この海外派遣事業では、久御山中に担任した外国語指導助手が旧ワーウィック市出身だったことが縁で、1999年から交友に生徒を派遣し合っている。友好を深めている。95年に同校は姉妹校として提携した。

今回の派遣にあたっては、校内で訪問団員を募り、選考で、3年生11人(男子1人、女子10人)を決定。事前学習を重ねてきた。

この日、町役場で行われた出発式では中務二弘教育次長が「皆さんの輝ける未来に今回の経験や交流が生かされることを祈念します」と挨拶。訪問団長を務める内田教育長は「言葉や習慣の違いに戸惑いかもしれないが、それが学びの始まり。勇気をもって一歩を踏み出し、自分の思いを伝えよう。相手を理解する力を磨くチャンス。体全体でチャレンジして」と励ました。

続いて生徒を代表して松下愛海さん(3年)が決意の言葉「英語は得意ではないが、様々な人と交流し、オーストラリアの文化、歴史、自然生活習慣などを積極的に学びたい」と語りだした。

「それぞれの目標が達成できると協力し合い、全員で前向きに取り組ましよう」と、一緒に旅をする仲間と呼び掛けた。

公文代校長は今回の挑戦を応援した生徒の勇

気を称え、「自分から学びを深める有意義な日々」と激励。希望に胸を膨らませる11人を送り出した。

式後、一行は家族らの見送りを受けて、バスで関西国際空港へ。現地ではホームステイ、姉妹校交流によるプログラム、観光などを楽しみ、帰国は9日夜の予定。